

多摩川緊急治水対策プロジェクト

～地域が連携し、河川における対策、流域における対策、ソフト施策の組合せにより社会経済被害の最小化を目指す～

大田区 世田谷区 府中市 調布市 狛江市 多摩市 稲城市 川崎市 東京都 神奈川県 気象庁東京管区气象台 京浜河川事務所

○令和元年台風第19号において甚大な被害が発生した多摩川流域における今後の治水対策の方向性として、関係機関が連携し、「多摩川緊急治水対策プロジェクト」として取りまとめました。

○国、都、県、市区が連携し、以下の3つの取り組みを実施していくことで、「社会経済被害の最小化」を目指します。

①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】

②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】

③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

①被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）

<課題>

- ・多摩川では、都市部の人口が密集した中～下流部で氾濫危険水位を大きく超えた
- ・また、世田谷区玉川地区では溢水氾濫が発生

<主な取組メニュー>

■ 洪水処理能力を向上させる取組

- ・河道の土砂掘削、樹木伐採による水位低減
- ・流下阻害の横断工作物（大丸用水堰）の改築
- ・世田谷区玉川地区の堤防整備（掘削土を活用）

⇒ 河道掘削 約198万m³他
⇒ 堰改築 1箇所
⇒ 堤防整備 約0.5km

・既存ダムの洪水調節機能強化

<今後の方向性>

被害軽減に向けた治水対策の加速化



東京都世田谷区玉川地区の溢水による浸水被害状況（世田谷区提供）

②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）

<課題>

多摩川本川の水位上昇に伴い、内水氾濫等の被害が発生

<主な取組メニュー>

■ 浸水被害を軽減する取組

- （下水道事業等の整備促進）
- ・流出抑制施設の整備等
- ・既存施設（五反田川放水路(建設中)）の活用による雨水貯留

<今後の方向性>

自治体及び施設管理者等が連携して浸水被害軽減対策について検討し、取組を推進

- ・下水道樋管等のゲート自動化・遠隔化等
- ・移動式排水設備（排水ポンプ車等）の整備
- ・土のう等の備蓄資材の配備等



川崎市内の内水による浸水被害状況

③減災に向けた更なる取組の推進（ソフト施策）

<課題>

同時多発的な被害発生により、情報が膨大となり、状況把握・情報伝達・避難行動が円滑に進まない

<主な取組メニュー>

■ 重要度に応じた情報の伝達方法の選択及び防災情報の共有化のための取組

- ・自治体との光ケーブル接続
- 関係機関が連携した水害に対する事前準備のための取組
- ・多機関連携型タイムラインの策定、運用
- ・講習会等によるマイ・タイムラインの普及促進

<今後の方向性>

関係機関等が連携し、円滑な水防・避難行動のための体制等の充実を図る

- ・簡易型河川監視カメラの設置
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- ・自治体職員対象の排水ポンプ車運転講習会の実施



自治体要請による排水ポンプ車の派遣状況

多摩川緊急治水対策プロジェクト

～首都東京への溢水防止及び沿川・流域治水対策の推進～

○令和元年10月台風第19号により、甚大な被害が発生した、多摩川において、国、都、県、市区が連携し、

「多摩川緊急治水対策プロジェクト」として取りまとめました。

○国、都、県、市区が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、「社会経済被害の最小化」を目指します。

①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】

②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】

③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】



■河川における対策

全体事業費	約191億円
災害復旧	約28億円
改良復旧	約163億円
事業期間	令和元年度～令和6年度
目標	台風第19号洪水における本川からの越水防止
対策内容	河道掘削、樹木伐採、堰改築、堤防整備等

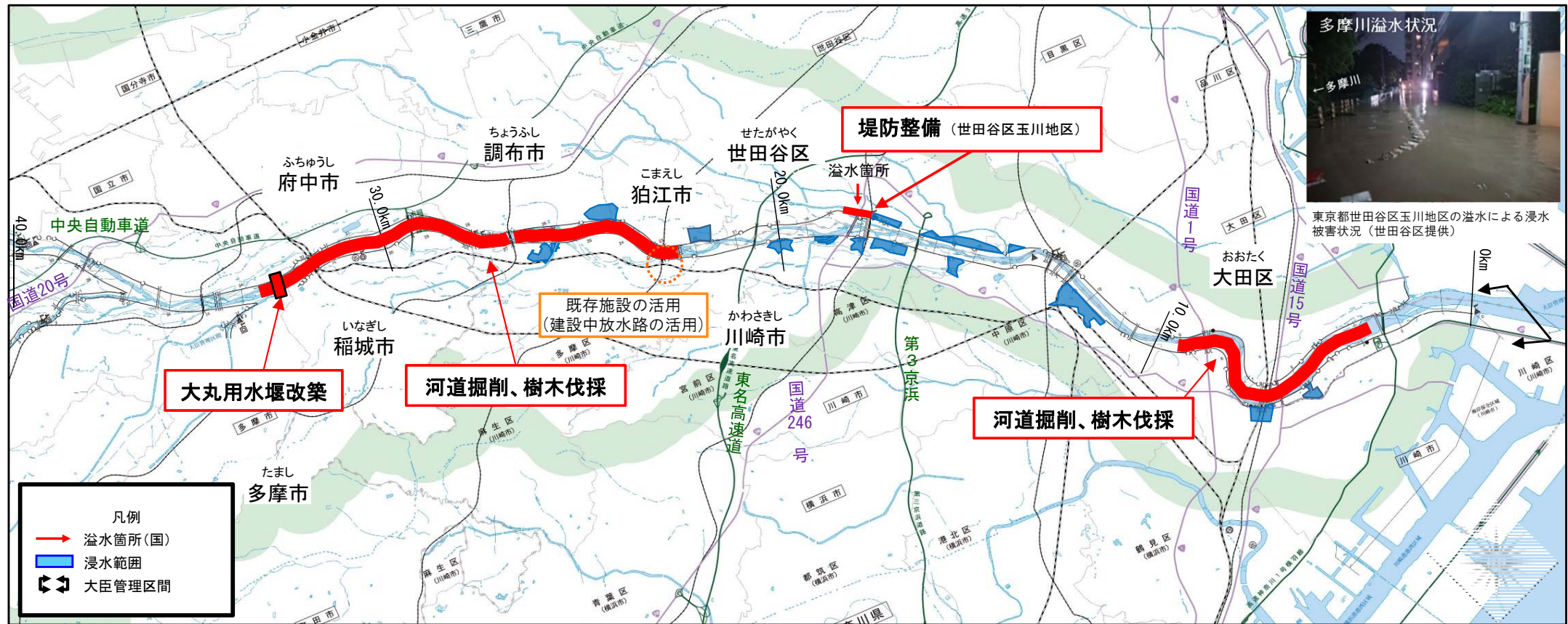
■流域における対策

(下水道事業等の整備促進)

- 流出抑制施設の整備等
- 既存施設(五反田川放水路(建設中))の活用による雨水貯留
- 下水道樋管等のゲート自動化・遠隔化等
- 移動式排水設備(排水ポンプ車等)の整備
- 土のう等の備蓄資材の配備等

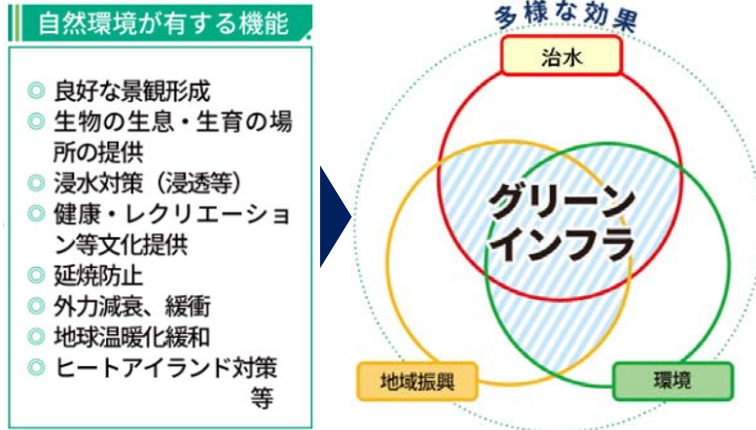
■ソフト施策

- 自治体との光ケーブル接続
- 簡易型河川監視カメラの設置
- 多機関連携型タイムラインの策定、運用
- 講習会等によるマイ・タイムラインの普及促進
- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
- 自治体職員対象の排水ポンプ車運転講習会の実施等



グリーンインフラとしての多摩川らしさの復活を伴う治水対策

多摩川らしさの復活を伴う治水対策の実現と環境・地域振興の実現の両立を目指す



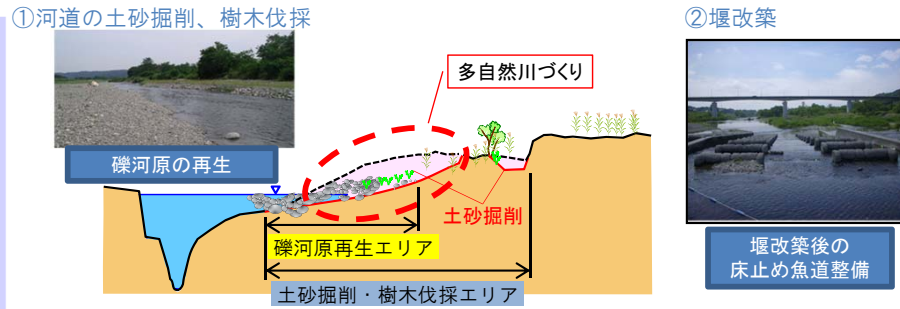
(国土交通省グリーンインフラポータルサイト http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000015.html より)



1 洪水処理能力の向上

河川と流域が一体となった対策

- ① 河道の土砂掘削、樹木伐採
- ② 流下阻害の堰改築



1 河道のコリドー機能の向上

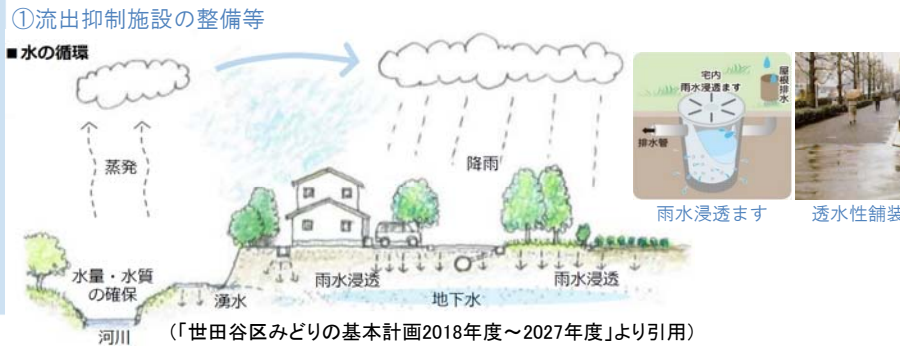
エコロジカル・ネットワークの形成

- ① 多自然川づくりの徹底
礫河原の再生
- ② 魚がのぼりやすい川づくり
(堰改築による段差の解消)

2 浸水被害を軽減させる対策

流域

- ① 流出抑制施設の整備等



2 気候変動への適応

- ① ヒートアイランド対策
健全な水循環系の回復
(湧水の復活)
環境学習等への場の提供

多摩川らしさを回復させる治水対策の実現

多摩川らしい環境の回復 地域振興の実現

※具体的な取組内容等については、今後の調査・検討等により変更となる可能性があります。